

# 自励振動に対する動吸振器の動作原理の解明と最適設計法の開発

谷口, 智之

<https://doi.org/10.15017/1654874>

---

出版情報：九州大学, 2015, 博士（工学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：全文ファイル公表済



氏 名	谷 口 智 之			
論 文 名	自励振動に対する動吸振器の動作原理の解明と最適設計法の開発			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	近藤孝広
	副 査	九州大学	教授	雉本信哉
	副 査	九州大学	教授	井上卓見

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、一般的な線形自励振動系を対象として減衰の影響の正確な評価とエネルギー的見地からの検討を可能とするような新しいタイプの複素モード解析法を開発するとともに、この手法を駆使して係数励振系、負性抵抗系、非対称行列系に対する動吸振器の動作原理をエネルギー的見地から解明し、その合理的かつ効率的な最適設計法を確立したものであり、振動工学上寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）に値するものと認める。